



第1回ソフトマター物理若手勉強会報告

A03 班 田中晋平

「第1回ソフトマター物理若手勉強会」(以下勉強会)は、平成19年8月27(月)から8月29日(水)までの3日間にわたって宮島で開催された。私は主催者の裏方として運営に携わせていただいたので、その一部始終をここで報告させていただく。また、今後の参考にと、勉強会の最後にアンケート調査を行っているので、そこで得られた貴重な意見も紹介する。

そもそもこの若手勉強会は、若手の育成と活性化こそが特定領域研究の最も大きな目的の一つであるという領域代表と総括班の信念により企画され、広島大学にその運営が委託されたのが始まりである。その際、1. 若手のためになる講義を中心に、2. 若手の研究発表の場も設け、3. 若手同士の交流が活発になされるような勉強会がよいとの方針が決められた。1. 2 はともかく、3 のためにはどこかの会場に全員を缶詰めにしてしまうのがよかろうということになり、そのための場として宮島が選ばれた。宮島は世界的な観光地ではあるが夜は早い。隔離された宮島の環境なら半ば強制的に若手の交流が進行するであろうとの読みに基づいたものである。

ここで勉強会のおおまかなスケジュールを挙げておく(敬称略)。

- ・ 初日
 - －講義 西森拓(広島大学)「砂丘の動力学」
 - －口頭発表 2件、ポスター発表 28件
- ・ 2日目
 - －講義 好村滋行(首都大学東京)「ソフトマター物理からみた生体膜」
 - －口頭発表 2件
 - －講義 木村康之(九州大学)「ソフトマターを光で「見る」、「測る」、「操る」」
 - －口頭発表 2件、ポスター発表 30件
- ・ 3日目
 - －太田隆夫(京都大学)「マイクロ相分離構造形成と転移キネティクス」
 - －口頭発表 3件

このように、この勉強会は4つの講義と参加者ほぼ全員の発表(口頭またはポスター)にて構成された。講義の司会、口頭発表の座長もすべて参加者にさせていただいた。講師の先生方には若手に対するイントロダクションから始めて最先端の研究の話までしてくださいと無理なお願いをしたにもかかわらず、全員快く引受けてくださった上、この注文にも十分答えていただいた。どの講義も周到に準備され、丁寧に説明していただいたおかげで、

とても分かりやすく、ためになるものであったと思う。講義の途中でも多くの質問がでるなど、活発な講義をしていただき、感謝申し上げたい。

アンケート結果の講義に関しての個別意見として、もっとソフトマター物理の基礎となる理論や実験の概説を学びたいとの声が多くあったことも報告しておく。具体的に挙げられたものは、化学反応系、非平衡統計力学、ギンツブルグーランダウ理論、流体力学などである。曖昧ながら化学、生物、生物物理などの基礎理論を学びたいとの声もあり、参加者が広い視点からソフトマターをみることに強い興味を持っていることが分かる。

研究発表の場としては、ポスター発表の方に圧倒的な人気があり、口頭で発表したいという人は少なかった。今回は約 30 件のポスター発表に 2 時間と長めの時間をとったが、長過ぎるという意見は少数で、いろいろな議論ができてよかったとの意見が多かった。ただ、会場が狭くて不自由だったのと、奇数偶数に分けて発表させるなどの工夫をしなかったため、他の人のポスターを見られなかった場合もあるようで、不慣れな運営で申し訳なかった。全体にポスター発表の方が多くの議論ができてためになると考える人が多いようで、口頭発表の時間を講義にまわして、全員がポスター発表でもよかったかと思った。

ポスター発表に対しては、全員の投票によって最優秀発表を選び、ポスター賞として懇親会にて表彰した。投票は接戦で、2 回のポスター発表にたいして同率首位が 2 人ずつおり、合計 4 人に賞品を出した。受賞者はとてもうれしそうで、この企画はやってよかったと思った。

当初の目的である若手の活性化がなされたかどうかは、すぐに分かることではないが、もう一つの目的である若手同士の交流に関しては全体にうまくいったと思う。スケジュールがタイトで観光の時間もないとの文句が結構あったが、そのおかげで飯を一緒に食べ、昼は勉強、夜は部屋で飲む、と、まさに狙い通りで、むしろしてやったりである。

今後の勉強会の行く末であるが、アンケートでは、ぜひ今後もつづけてほしいとの声が多くあった。学生主体でやった方がよいとの頼もしい意見もあり、今後も何らかの形でこのような若手の勉強会は続けていくべきであると思う。

最後に、勉強会の運営をボランティアで助けてくれた、広島大学の梶岡君とゴッシュ君にこの場をかりて感謝申し上げたい。また、首都大の相澤さんとポラリスの岩佐さん、笹部さんにも大変お世話になった。お礼を申し上げたい。



ポスター会場での一幕